

DXへの取り組み

昨今では少子高齢化や若者の免許取得率の低下など、自動車教習所業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。さらには、加速していくデジタル化の波やEVの普及、自動運転の開発など業界全体の近い将来に大きな変化が予想されます。

そのような社会全体の変化に対応していく為、藤井興発株式会社では、新しいシステム環境およびスキルを導入し、さらなるデジタル化・IT化を推進してまいりました。主に業務の効率改善を目的としてiPadを全従業員に配布し、デジタル技術を活用して業務効率改善・残業削減対策を行うことで新たな付加価値の創造と従業員のライフワークバランスの確保に努めてまいりました。

今後とも、DX推進を更に強化し、掲げたビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。Google等のBIツールを用い、可視化したデータを基にお客様満足度の向上を目的とした施策をスピーディーかつ数多く実行できるビジネスプロセスを構築し、目まぐるしく変化し続ける業界の環境とお客ニーズに素早く対応していける経営を実現してまいります。

藤井興発株式会社
代表取締役 藤井康弘

DXビジョン

弊社では経営戦略の一環としてデジタル技術の発達に伴い多様化する環境に素早く対応しデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を強化することによって、従業員のより働きやすい環境づくりや、交通違反や交通事故を起こさない優良な運転者の育成に取り組んでまいります。

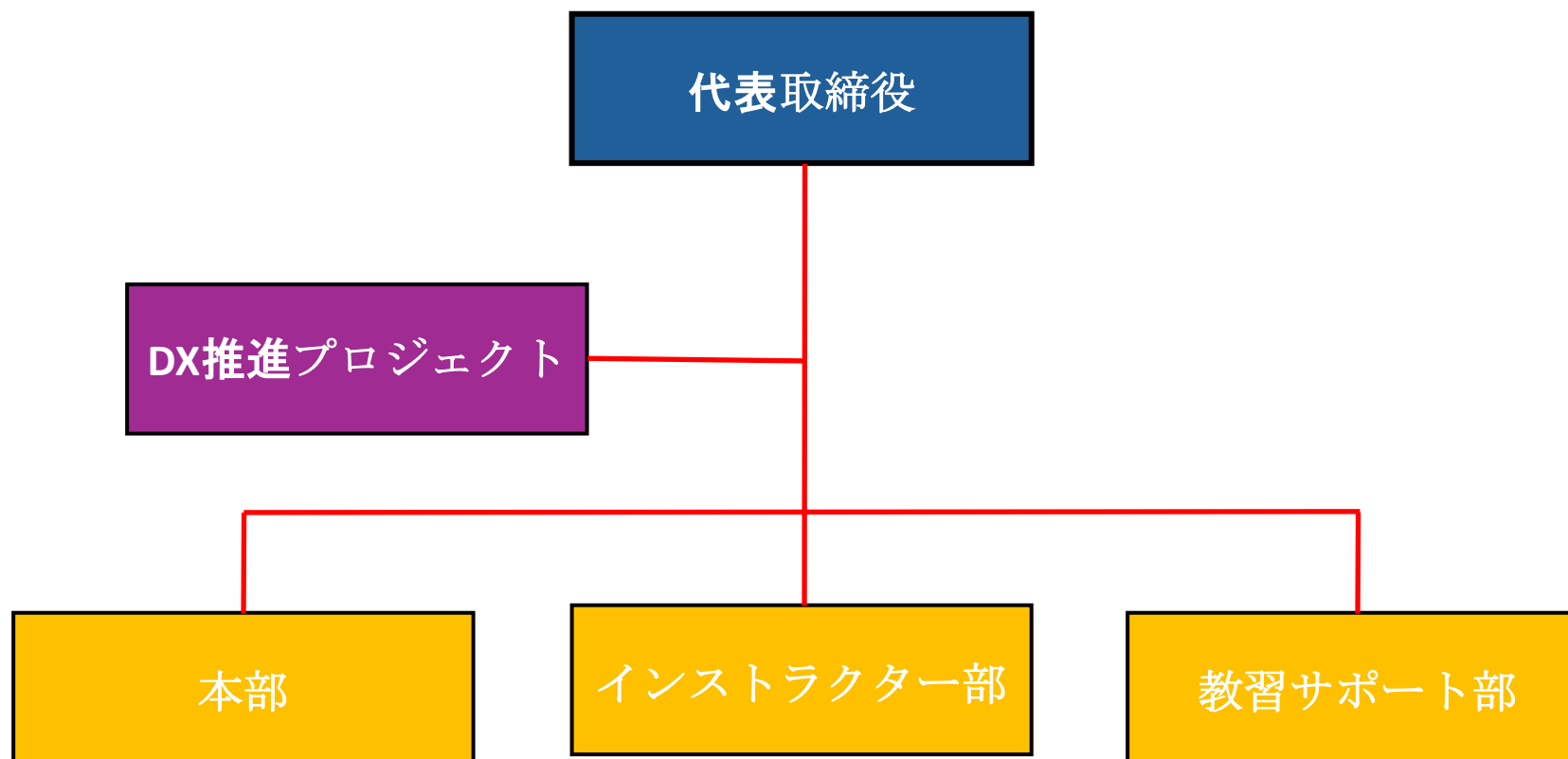
「データ主導型」の経営に舵を切り、組織全体の変革、意識改革を進めていきます。

DX推進戦略

弊社では、これまでにオンライン申込・オンライン学科教習・デジタル教習原簿等を導入することで自動車学校業務でのDX化に取り組み、お客様の利便性向上や間接業務の効率化をはかってまいりました。今後は、基幹システムから得られるデータを分析・可視化することで、経営判断と業務改善に活用し、顧客ニーズへの迅速な対応の実現を目指します。さらに、事業活動のデータ化と分析により、リアルタイムな教習状況の把握と効率的な営業戦略の立案を促進することを目指します。社員に支給したiPadを活用し、リアルタイムなデータ取得と効率的な改善を促進するため、社内でBIツール制作する体制を構築します。

DX推進プロジェクトを発足し、社外でのDX推進セミナーへの参加や情報リテラシー向上の研修の実施を通して、社員がDXの重要性を理解し、積極的に関与し、業務でのDX活用方法やスキルを向上させる取り組みを進めます。

組織体制の構築



部署を横断したDX推進に取り組むプロジェクトを立ち上げます。

DX推進プロジェクト達成状況を計る指標

弊社では、毎年2回実行計画アセスメントをおこなった上で、その結果を反映し各チームで実行計画を作成しています。月一回評価をおこないながら実行計画目標を達成できるよう努めていきます。各担当分野において、デジタル化による付加価値向上とさらなるDX推進を強化することで、中長期的な経営目標の達成を目指します。

デジタル技術やデータ活用に精通した人材の数を毎年1名ずつ育成することを目標とし、社外研修や人材配置を計画していきます。

「DX推進指標」を活用し数値を計測することで、DX推進の取組状況の進捗を管理しアップグレードを図ります。

目標数値 平均3.3【2026年度末】